

## みなみ信州農業協同組合

みなみ信州農業協同組合（JAみなみ信州）は、長野県の南部・飯田下伊那地域を管轄するJA。「市田柿」「南水(梨)」「りんご」「きゅうり」「南信州牛・信州ポーク」など「安心・安全・健康・高品質」にこだわった農畜産物は全国的に高い評価を受けている。



みなみ信州農業協同組合  
代表理事組合長 田内市人

### ■ 台湾・香港の旧正月を商機に

長野県・南信州地域で生産されている高級ブランド干し柿「市田柿」。その歴史は500年以上前にもさかのぼります。

表面は美しい白い粉(柿霜)に覆われ、断面は鮮やかなあめ色、もちもちとした食感と上品な甘さが特徴です。

2006年には地域団体商標の取得、2016年には地理的表示(GI)も取得し、地域をあげて国内外における更なるブランドの確立に取り組んでいます。

国内での市田柿の市場は年末年始がピークで、年が明けると少しずつ国内需要は減少します。一方、台湾・香港など旧正月(春節)を祝う習慣のある中華系マーケットでは、1~2月は日本産のフルーツ、菓子などの食品が高級ギフトとして重宝されています。そこで、JAみなみ信州では、この旧正月商戦に焦点をあて、国内の需要が減少する時期に市田柿の海外輸出を重点的に進めることで、シーズンを通じた安定出荷と販売価格維持を図りたいと考えました。

市田柿の輸出は台湾向けを中心に10年ほど前から始まり、2016年には全体出荷量のうち4%を輸出。しかし、その形態は国内市場を経由した間接輸出であるため、自らが海外マーケットの現状を把握していないという課題を持っていました。また、海外での販売拡大のためには市田柿の知名度を上げることが必要という認識もありました。

このような背景もあって、2016年度に新設されたJETRO地域団体商標海外展開支援事業に申請し、海外向け販売戦略の検討、ブランド構築に乗り出すこととなりました。

### ■ ジャパニーズスーパーフードを海外へ

地域団体商標海外展開支援事業の初年度である2016年度は、アジア(台湾・香港)と欧州(ドイツ・フランス・英国)の市場調査を実施し、海外販売戦略づくりのための情報収集を行いました。



台湾でのプロモーション活動

ジャパニーズスーパーフード：市田柿

これにより、①海外における知名度の低さ ②日本国内他産地の干し柿との競合 ③賞味期限の短さ ④輸送や販売時の温度管理 などの具体的な課題が浮き彫りになりました。

事業2年目である2017年度は、旧正月向けギフト需要の拡大を目指して台湾・香港におけるプロモーション活動実施と、新規市場として有望なマレーシアの市場調査を実施しました。プロモーション活動にあたり、それまで整備されていなかった英語と中国語(繁体字)のリーフレットを作成し、市田柿の特徴を分かりやすく現地の消費者に届けるように工夫しました。結果、輸出量は前年比124%増につながりました。

市田柿は食物繊維、β-カロテン、ビタミンA、カリウムといった栄養素が豊富なスーパーフードです。生活習慣病の増加により海外でも健康を気にする消費者が増えている中、市田柿が持つこのような特徴も海外の消費者にアピールしていきたいと考えています。

今後も輸出を継続するためには、賞味期限や販売時の温度管理、若年購入層の開拓なども重要な課題ととらえており、引き続き検討が必要です。JETRO事業を活用し、今後の輸出戦略や解決すべき課題を見いだせたことは、とても役に立ったと感じています。

現状、市田柿の総販売額は約50億円ですが、我々JAみなみ信州では、若年層を中心とした新たな消費層の拡大、ギフト用商品の対応など国内販売体制の強化を図るとともに、海外市場を取り込むことで将来的には南信州地域全体で100億円産業に育てていこうという目標を掲げています。

JAみなみ信州としては、さらに輸出を拡大していくことで、地域の市田柿産業に関わる生産者、販売者の方々にしっかりと利益を還元できる取り組みに発展させたいと考えています。

#### ☞ 利用したJETROのサービス

「地域団体商標」の国際展開支援、食品輸出商談会(国内)、貿易投資相談、セミナー・講演会

#### ☞ JETRO活用のメリット

地域団体商標海外展開支援事業を通じ、自ら海外市場を知ることで、具体的な海外輸出の課題の洗い出し、戦略作りにも臨むことができました。その一環として、プロモーション活動に使用する海外市場向けの英語・中国語(繁体字)のリーフレットも作成することができました。

#### JETRO長野 所長代理 石川由香

海外においても「健康・美容」は誰もが気にする重要なキーワード。長野県南信州産の伝統食品が世界のスーパーフードになる日を想像して今後も一緒に取り組んでいきます。



みなみ信州農業協同組合(営農部販売課) 代表理事組合長：田内市人

長野県飯田市鼎東鼎281 Tel:0265-52-6644

<http://www.ja-mis.ijan.or.jp/>

職員：166名(営農部)

事業内容：営農事業、経済事業、信用事業、共済事業

目的：輸出

対象国・地域：台湾、香港、マレーシア、タイ